

実力養成編

だい ぶ ぶん ぶんぱう
第2部 文の文法2

ご もす いみ とお ぶん く た ぶんぱう き
語と語を結びつけて意味の通る文を組み立てるためには、文法的な決
まりを考えながら語を並べていかなければなりません。文法形式の意味
や用法がわかることだけではなく、実際に文を組み立てられることが大
切です。

1 課 文の組み立て -1 決まった形

文を組み立てるときは、組み立てのルールに従わなければなりません。そのうち、ぜひ覚えておくべきルールは次のようなものです。

1 後に否定の言い方が来るもの

- ・～てからでないと 現地を見てからでないと、何とも申し上げられません。(第1部3課)
- ・～に限つて あの子に限つてうそをつくはずがない。(第1部5課)
- ・～からといって 正月だからといって、仕事を休めるわけではない。(第1部14課)
- ・～ないことには 安いからといって、品質が悪いとは限らない。
- ・～を抜きにしては 体力がないことには、責任のある仕事はできない。(第1部15課)
- ・～として～ない 山下さんを抜きにしては、この計画は実行できない。(第1部15課)
- 1日として酒を飲まない日はなかった。(第1部21課)

2 疑問詞につくもの

- ・～にしても・にしろ・にせよ どちらにしてもやらなければならないことは同じだ。(第1部15課)
- ・～として～ない だれ一人として会長の意見に賛成する者はいなかつた。(第1部21課)
- ・～ことだろう・ことか あの子にはもう何度も注意したことか。(第1部26課)

3 数字につくもの

- ・～として～ない 古い本を1冊として残さず、捨ててしまった。(第1部21課)

4 後に名詞が来るもの

- ・～といった わたしはうどん、そばといっためん類が好きだ。(第1部10課)

5 だいたい決まった組み合わせで使うもの

- ・～さえ～ば 弟は暇さえあればインターネットで何か見ている。(第1部21課)
- ・～を～にして 漢字をもとにして、ひらがなとカタカナが作られた。
- ・～を～として 昨夜、関東地方を中心として、大雨が降った。
- ・たとえ～としても・ たとえ正解でないにしても、大きく間違つてはいないはずだ。
にしても・にしろ・にせよ (第1部15課)
- ・なにも～ことはない なにもそんなに怒ることはないでしょう。(第1部24課)
- ・なんと～ことだろう・ことか マリさんの分析力はなんと鋭いことだろう。(第1部26課)

練習1 次の文の ★に入る最もよいものを1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

- 1 一度ぐらい店長にしかられた _____ ★ _____ でしょう。
1 ことはない 2 なにも 3 からといって 4 店を辞める
- 2 ぜひ買ってほしいと _____ ★ _____ 気にはなりません。
1 買う 2 言われても 3 でないと 4 現物を見てから
- 3 帰国の前日、家具が _____ ★ _____ 部屋を掃除した。
1 として 2 一つ 3 残っていない 4 何
- 4 わたしの主張が認められなくて _____ ★ _____ と思う。
1 悔しかった 2 どんなに 3 わかつてもらえない 4 ことか
- 5 君が _____ ★ _____ から必ず来てくれ。
1 バンド演奏が 2 来ない 3 できない 4 ことには
- 6 あいさつを _____ ★ _____ 決めておかなければならない。
1 頼む 2 スケジュールは 3 にしても 4 だれに
- 7 このたび、この町の _____ ★ _____ 会が活動を開始しました。
1 する 2 もくてき 3 交流を 4 外国人と日本人の
- 8 彼はたとえ _____ ★ _____ だろう。
1 一度決めた 2 にしても 3 進路を変えない 4 困難である
- 9 うちでは _____ ★ _____ 専業主婦のわたしがやっているんです。
1 といった 2 面倒なことは 3 家事や育児 4 みんな
- 10 この村は _____ ★ _____ としてもっと発展するのに。
1 さえ 2 観光の名所 3 よければ 4 交通の便
- 11 周囲の人たちの _____ ★ _____ と思う。
1 協力を 2 優勝は 3 無理だった 4 抜きにしては
- 12 H氏に _____ ★ _____ と思っていたのに……。
1 発言をする 2 はずはない 3 限つて 4 そんな

2 課 文の組み立て - 2 名詞を説明する形式

名詞を説明するには、名詞に「の」をつけて前に置く、形容詞を用いる、文の終わりを普通形にして前に置く以外に、次のような形式があります。

1 助詞+の+名詞

- 東京駅まで行く切符→東京駅までの切符
- 踏み切りで起こった事故→踏み切りでの事故
- 両親とした話し合い→両親との話し合い
- 母にあげる贈り物→母への贈り物（× 母にの贈り物）

2 助詞相当語+の+名詞

- | | |
|--|---|
| <p>(動詞などを説明する形)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職するにあたって必要な準備 試験開始に際して伝える注意事項 新しい監督のもとで行う練習 大使館を通じて行う連絡 親として果たす責任 | <p>(名詞を説明する形)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職するにあたっての準備 試験開始に際しての注意事項 新しい監督のもとの練習 大使館を通じての連絡 親としての責任 |
|--|---|

3 助詞相当語のた形・辞書形+名詞

- | | |
|---|---|
| <p>(動詞などを説明する形 て形)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民謡をもとに作った歌 経験に基づいて判断する 計画表に沿って作業を進める 年齢に応じて運動量を調整する | <p>(名詞を説明する形 た形)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民謡をもとにした歌 経験に基づいた判断 計画表に沿った作業の進行 年齢に応じた運動量の調整 |
|---|---|

(動詞などを説明する形 て形)

- 工事は5年にわたって~~つづ~~続けられた
- 桜をはじめとしていろいろな花が咲く
- 事故原因に関して調べる
- 目上の人に対して礼儀正しくする
- 要望にこたえて予算を組み替えた
- 創立者の精神に基づいて教育する
- 政府の方針に沿って開発を計画する
- 体力向上に伴って気力も回復する
- 地震によって津波が起きた
- 京都において会議が開かれた

(名詞を説明する形 辞書形)

- 5年にわたる工事 (第1部4課)
- 桜をはじめとするいろいろな花 (第1部4課)
- 事故原因に関する調査 (第1部7課)
- 目上の人に対する礼儀 (第1部7課)
- 要望にこたえる予算の組み替え (第1部7課)
- 創立者の精神に基づく教育 (第1部8課)
- 政府の方針に沿う開発計画 (第1部8課)
- 体力向上に伴う気力の回復 (第1部9課)
- 地震による津波 (第1部16課)
- 京都における会議 (第1部A)

4 「～という・～との」+名詞 (内容を説明する場合)

- 弟が学校の窓ガラスを割ったという知らせ
- リンさんは話がとても面白いという評判
- 兄が結婚するとの手紙

*同時に形容詞や、「その」「あの」「そんな」などでも説明する場合は、ふつうそれらを名詞のすぐ前に置く。

- 兄が結婚するといううれしい手紙
- おばけが出るという変なうわさ
- 日本チームが金メダルを取ったというあのニュース



練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 (a 現場へ b 現場への) 直行するときは、先に知らせてください。
- 2 あしたの会では(a 外国から b 外国からの)お客様が歌ったり踊ったりするそうで、楽しめます。
- 3 (a 向こうから b 向こうからの)バスが来ますが、公園行きでしょうか。
- 4 (a 母に b 母への)プレゼントしたいと思って、花を買いに行った。
- 5 本田氏は有能な経営者(a として b としての)国の内外で知られている。
- 6 本製品ご使用(a にあたって b にあたっての)下記のような点にご注意ください。
- 7 数学の歴史(a について b についての)本を探した。
- 8 若者の職業意識(a に関して b に関する)研究所で調査した結果を雑誌に発表した。
- 9 彼は有名なクラシック音楽(a をもとにして b をもとにした)日本人向けに編曲した歌を作っています。
- 10 この店はパーティーの予算(a に応じて b に応じた)献立が好評だ。
- 11 1週間(a にわたって b にわたる)特別研修が明日で終わる。
- 12 電気製品は法律(a に基づいて b に基づく)処理によって、リサイクルが進められる。
- 13 君の言い方はお客様(a に対して b に対する)失礼ではないですか。

練習2 次の文の ★ に入る最もよいものを1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

- 1 新しい店をオープンする _____ ★ _____ かたまってきた。
1 の 2 ようやく 3 にあたって 4 方針が
- 2 市民の _____ ★ _____ 自指しています。
1 街づくりを 2 願いに 3 こたえる 4 しっかり
- 3 今世紀に _____ ★ _____ この世からなくすことだ。
1 課題の一つは 2 最大の 3 人種差別を 4 おける
- 4 今朝の新聞に、8歳の子が _____ ★ _____ 記事が載っていた。
1 という 2 一人で 3 びっくりするような 4 全国を旅した
- 5 母が日本へ来る _____ ★ _____ 大好きな食品が数々送られてきた。
1 とともに 2 との 3 兄からの 4 知らせ
- 6 地球温暖化に _____ ★ _____ 面でも深刻な問題である。
1 経済的な 2 影響は 3 天候の変化の 4 よる
- 7 うちの子は、夜遅く寝て _____ ★ _____ 習慣がついてしまった。
1 遅く起きる 2 困った 3 という 4 朝は
- 8 気温の変化に _____ ★ _____ 楽しみにもなっている。
1 景色の 2 人々の暮らしの 3 移り変わりは 4 ともう
- 9 母から、_____ ★ _____ 写真とともに届いた。
1 メールが 2 いい香りの 3 という 4 花が咲いた
- 10 この週刊誌に、現地で _____ ★ _____ 記事が載っている。
1 事実に 2 調べた 3 基づく 4 くわしく
- 11 マニュアル _____ ★ _____ できないと思います。
1 に沿った 2 いい営業は 3 だけでは 4 対応
- 12 現代の若者の、_____ ★ _____ 先生はどう思われますか。
1 政治 2 無関心 3 に対する 4 について

N2の文法形式には否定の形「～ない」がつくものが多いです。「ない」がどんな言葉とつながっているかを覚えておくと、効率的に文を組み立てることができるでしょう。

ないにつながる形	例	課
～わけが	あの子が事故を起こすわけがない。	12
～どころでは	外は小雨どころではない。天荒れだ。	12
～わけでは	わたしは毎日早起きするわけではない。	12
～というわけでは	勉強は楽しくないというわけではない。	12
～というものでは	安ければいいというものではない。	12
～ようが	そんな質問には答えようがない。	18
～どころでは	暑くてマラソンするどころではない。	18
～しか	謝って許してもらうしかない。	23
～よりほか	銀行からお金を借りるよりほかない。	
～ものでは	人の悪口など言うものではない。	24
～ことは	そんなに心配することはありませんよ。	24
～てしかたが	このごろ目が疲れてしまたがない。	25
～わけには	ここで仕事を辞めるわけにはいかない。	18
～に	この商品は売れるに違いない。 この治療法は効果的であるに相違ない。	22
～に	ただやるべきことをやったにすぎない。	23
～に	仕事は生活のためにほかならない。	23
～に	越したことはない	23
～て	たまらない	25
～て	ならない	25
～ないでは	お酒を飲まないではいられない。	25
～ずには	おかしくて笑わずにいられなかつた。	
～ないわけには(は)	病院へ行かないわけにはいかない。	25
～ざるを	この説明は不十分と言わざるを得ない。	25

練習1 次の文の **★** に入る最もよいものを1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

- 1 これは難しい **★** ない。
 1 読める 2 5歳の子に 3 わけが 4 漢字だから
- 2 せっかくの連休に子供が **★** ずっと子供のそばにいた。
 1 遊びに行く 2 熱を出して 3 ではなく 4 どころ
- 3 この病気は **★** 時間をかけて体質改善をしなければならない。
 1 治る 2 という 3 薬を飲めば 4 のではなく
- 4 知らないことは **★** 友達にしつこく聞かれた。
 1 ある人の 2 ないのに 3 問題について 4 答えようが
- 5 初めは単なる **★** わかつて驚いた。
 1 事実だと 2 すぎないと 3 うわさに 4 思っていたことが
- 6 最近、最後まで **★** 番組が多い。
 1 おもしろい 2 いられない 3 見ずには 4 ような
- 7 今後どうなるか **★** ありませんよ。
 1 今から心配する 2 わからない 3 ことを 4 ことは
- 8 どんな時にも **★** 、お金には代えられないものもある。
 1 お金は 2 越したことは 3 あるに 4 ないが
- 9 父が **★** わけにはいかなかつた。
 1 失望する 2 話す 3 本当のことを 4 かと思うと
- 10 人生には、時間が過ぎるのを **★** ある。
 1 待つ 2 しかない 3 静かに 4 ことも
- 11 この仕事が無事に **★** 、心から感謝している。
 1 チームワークが 2 終わったのは 3 ほかならず 4 よかつたからに
- 12 明日にでも **★** わけではありませんが、慎重に考えたほうがいいですよ。
 1 気持ちも 2 という 3 会社を辞めたい 4 わからない

実力養成編

だい ぶ ぶんしょう ぶんぱう
第3部 文章の文法

文はいくつか連なって一続きのまとまり(文章)になります。しかし、一文一文がただ並んでいるだけでは文章とは言えません。一連の文がまとまって文章という単位になるには、文がゆるやかな決まりに従つてつながっている必要があります。文章にまとまりを与えるゆるやかな決まりが「文章の文法」と呼ばれるものです。

1課 始めと終わりが正しく対応した文

文章にまとまりを持たせるためには、文と文とが自然につながるようにすることが大切です。その基本として、それぞれの文も始めと終わりが正しく対応していなければなりません。それには、以下のことに注意する必要があります。

A 主語と述語の対応

◆主語と述語の関係には次の四つの型があります。長い文では主語と述語が離れていますから、注意が必要です。

主語	述語	例
何 が(は) 名詞	何 だ。 名詞	ここは50年前、静かな農村だった。 事故の原因はスピードの出しすぎである。
何 が(は) 名詞	どうだ。 イ・ナ形容詞	富士山は雪景色が特に素晴らしい。 健康な生活をおくるには、良い生活习惯が大切だ。
何 が(は) 名詞	どうする。 動詞	明日からYホールでゴッホの展覧会が開かれる。 今年は、この地方は4回も台風の被害を受けた。
何 が(は) 名詞	ある・いる。	駅前には自転車置き場が数か所ある。 わたしは今、ゆっくりテレビを見る時間がない。

B 文末の制限-1 決まった文末をとる表現

1. なぜなら・というのは・なぜかというと +～から(ため)である →第3部10課

例・わたしは結局国へは帰らないで、日本に残ることにした。というのは、日本の精神風土がわたしに合っていると思われたからである。

2. ~かというと +「～」を否定する文

例・この作家の作品がすべて歴史的なものばかりかというと、そんなことはない。中には軽いタッチの旅行案内もある。

3. ~の(=理由・原因)は +…から(ため)である…である

例・今年の米の収穫量がいつもの年より少なかったのは、夏、天候が安定しなかったためである。
・わたしは教師の道を選んだ。迷いなく選んだのは、教師だった父の影響だろう。

4. ~には +…がいる・…がある・…が多い・…が見られる

例・この地球上には、貧しいために教育を受けられない子供たちがいる。
・このアンケート調査には、いくつか不十分な点がある。

5. ~には +…が必要だ・…が便利だ・…がかかる・…なければならない

例・我々は大きな仕事を頼まれた。期待に応えるにはしっかり協力し合うことが必要だ。
・わたしの教育方針を理解してもらうには時間がかかる。丁寧に説明していかなければならない。

C 文末の制限-2 決まった文末をとる副詞

副詞	文末	例
まったく たいして めったに 少しも けつ 決して なにも からら 必ずしも	否定	わたしは進学することは全く考えていない。 車の修理にはたいして費用はかかるなかった。 こんな素晴らしい景色はめったに見られない。 健康についてはわたしは少しも心配していない。 わたしは料理に化学調味料は決して使いません。 なにもそんなに怒ることはないでしょう。 値段が高いものが必ずしもいいとは限らない。
どうも・どうやら もしかしたら おそらく まさか きっと	推量・ 否定の推量	あの二人はどうやら恋人同士のようだ。 もしかしたら、林さんは今日来ないかもしれない。 恐らく週末は忙しくなるだろう。 まさか林さんは不合格にはならないだろう。 かれは今ごろきっと困っているに違いない。
まるで 今にも	様態	地面に桜が散って、まるで雪が降ったかのようだ。 あの子は今にも泣き出しそうな顔をしている。
いちだんと・ますます しだいに・じょじょに	変化	最近、太郎は一段と大人っぽくなつた。 今後、経済は次第に回復していくだろう。
いつたい は果たして	質問	いつたい君は何を考えているのか。 果たしてわたしの予想は当たるだろうか。
すでに	完了	すでに会場の準備は整っている。



練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

1 今、一番樂しみなのは、

- a 富士山に登って頂上から日の出を見たい。
- b 来週のパーティーで世界の各地から来た人たちと交流することだ。

2 アンケートに答えた人の中には、

- a 政治には全く期待できないという人もいた。
- b 27%の人が、政治には期待できないと答えた。

3 都会で一人暮らしをする上で気をつけるべきことは、

- a 防犯と日常の食事である。
- b 防犯と食事には特に注意する必要がある。

4 最近の新入社員には、

- a 指示を受けてからでないと行動できない傾向が見られる。
- b どうも指示を待ってからでないと行動できないらしい。

5 この事故の原因は、

- a 運転手が長時間労働のため、睡眠不足だったようだ。
- b 運転手の長時間労働による睡眠不足であるという。

6 この複雑なデータを処理するには

- a パソコンを使ってすぐやってしまおう。
- b パソコンを使っても半日はかかる。

練習2 どちらか適当な方を選びなさい。

マクラメが似合う季節になった。マクラメ編みのテーブルセンターやベルトなどが(①a よく見かける b 店先に並んでいる)。マクラメとは、ひもを何度も結び合わせて作っていく(②a 工芸が美しい b 工芸のことである)。ひものような細長いものなら何でも使える。麻糸、ビニールのひも、毛糸など。材料費がそれほど(③a 高くないし b 安いし)、道具も全く(④a 使わないから b 簡単だから)、だれでも作れる。

マクラメ(macrame)という(⑤a 言葉は b 言葉には)、今は立派な英語になっているが、もともとは(⑥a アラビア語になって b アラビア語で)、ミクラマ(miqlama)といい、交差して結ぶという意味である。独特の編み方、結び方はイスラム文化の中で生まれた人類の最も古い技術の(⑦a 一つを言う b 一つである)。その後、北イタリアで盛んになり、今日に伝わる。19世紀、地中海貿易の船乗りたちも、恐らく長い船上での生活に退屈し、このマクラメを(⑧a 覚えたのだ b 覚えたのだろう)。マクラメの材料に麻糸が使われることが多いのも、もしかしたら、それが彼らにとって唯一手に入る(⑨a 材料だったからかもしれない b 材料だったと思われる)。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

最終的に私が出版を決断した理由はただ一つ、本書を手に取って下さった方が、改めて物語の魅力を確認し、物語の役割に目覚め、「ああ、本を□1何と素晴らしいことであろうか」と思ってくれたら、との願いが□2。

もし他所の星から来た生物が、本を読んでいる人間を見たらどう思うだろう、と私は想像することができます。小さな箱型の紙の束を手に、ただじっと座っているだけで、あるいは寝転がっているだけで、時折、一枚紙がめくられる以外変化はなく、ただ静かに時間が過ぎてゆく。いくら辛抱強く待っていても、何か新しい製品が生み出されるわけでもない。□3 何の得があって人間たちはこんな地味な営みをしているのか? きっとそんなふうに首を□4。

その時人間の心がどれほど劇的に揺さぶられているか、それは目に見えません。効果を数字によって測ることも不可能です。だからこそかけがえがないのだ、自分が自分であるための大切な証明になるのだ、ということを、くどいくらいに繰り返し語っているのが、□5。

(小川洋子『物語の役割』ちくまプリマー新書による)

1

1 読めば

2 読むことは

3 読んでいれば

4 読んでいる人は

2

1 ありました

2 あったというのです

3 あったからなのです

4 あったはずなのです

3

1 一体

2 確かに

3 どうやら

4 まさか

4

1 傾げたのです

2 傾げるでしょうか

3 傾げるようです

4 傾げるのではないですか

5

1 本書です

2 理由です

3 本書であきらかになります

4 本書の中で言いたいことです



文章としてのまとまりを持たせるためには、時間の流れに矛盾がないように文を続ける必要があります。また、ある時点での出来事を言っているのか、ある時間幅における状態のことを言っているのかをはっきりさせることも大切です。特に動詞の用法がポイントです。

ooooooooooooooooooooooo

A 動詞の現在形の用法

用法	例	動詞の種類
未来	わたしは来年、高校を卒業する。	動きを表す動詞
現在	彼女はトラックの運転ができる。	状態を表す動詞
	おなかが痛む。	感覚を表す動詞
	選手としてしっかり戦うことを誓います。	行動の宣言を表す動詞
時間に無関係	太陽は東から上って西に沈む。	

*形容詞文・名詞文の現在形は現在のこと・時間に無関係なことを表す。

B 動詞の過去形の用法

用法	例
過去	先週、アメリカから友達が来た。
現在につながる過去	わたしはさっきからずっとここにいた。
完了の結果	わたしは最近太った。
未来完了	あした集合時間に遅れた人は、自分で電車で来てください。
形状・状態	あの丸い形をした建物は何ですか。(名詞を説明する文の中で使う)
生理状態	ああ、おなかがすいた。

*形容詞文・名詞文の過去形は過去のことを表す。

C 「～ている」の用法

用法	例
動作・事態の継続	日本では子供の数が減っている。
結果の存続	電気が消えている。

形状・様子	この棒は先が曲がっている。
完了	20年後、わたしは社長になっているだろう。 3時に会場に着いた。もうみんな來ていた。
経験・記録	かれ彼は10年前に同じ病気で入院している。

D 複文の時制

◆複文は次のような構造になっています。(文の中に別の文が入り込んでいます。)

わたしは子供が熱を出したときは、仕事を休む。

「わたしは仕事を休む」: 主の文
「子供が熱を出した」: 中の文

◆「～とき・～場合・～際」などを使った複文や、名詞を説明する文を使った複文では、中の文の時制は話している時点に関係なく、主の文との時間的前後関係で決まります。(中の文に動きを表す動詞を使った場合)

a) 中の文のことが主の文のことより時間的に前のとき、中の文は過去形

例・来月ハワイへ行ったとき、ハワイにいる叔父を訪ねる予定だ。

行った → 訪ねる
(その後で)

・商品を間違って買った場合、店に返品することができる。

・以前は、この大学に入学した人は、全員寮に入った。

b) 中の文のことが主の文のことより時間的に後のとき、中の文は現在形

例・子供のころ、寝るとき、いつも母が本を読んでくれた。

読んでくれた → 寝る
(その後で)

・アメリカへ出発する際、成田空港で写真を撮った。

・あした国のお母に送る誕生日祝いを買います。

c) 主の文のことと中の文のことが同時のとき、中の文は現在形(または、主の文と同じ時制)

例・暑い日に外で仕事をする人は、たくさん汗をかく。

仕事をする ↔ 汗をかく
(同時)

・わたしがパソコンで仕事をしている/していた間、子供たちはテレビを見ていた。

・このマンションを買う/買ったとき、親のお金も使った。



練習1 () の中の動詞を適當な形・適當な時制に変えなさい。

- 1 来週ここで留学説明会を(①行う→)。(②来る→)人に資料を渡すのがわたしの役目である。
- 2 夜遅くその町に着いた。すでに11時を(①過ぎる→)。泊まることに(②する→)友人宅には行かず、安い宿に(③泊まる→)。
- 3 その夜、わたしは12時過ぎまで(①起きる→)。雨が(②降る→)。12時半ごろ、建物が強く揺れるのを感じる→)。
- 4 今朝、踏み切りで事故が(①ある→)らしく、電車が20分遅れた。新幹線のホームに着いたとき、(②乗る→)はずだった新幹線はもう(③出る→)。
- 5 家に(①帰る→)のは12時ごろだったと思う。子供たちはもう(②寝る→)が、妻はまだ本を(③読む→)。テレビをつけると、学生のころ(④見る→)映画を(⑤やる→)。面白くて、途中でやめられず、結局明け方まで(⑥寝ない→)。

練習2 () の中の動詞を適當な形・適當な時制に変えなさい。

- 1 わたしは小さいころから動物が好きだった。当時(①飼う→)犬や鳥はもちろん、公園のあひるや捨て猫も(②見る→)だけで飽きなかった。興味の対象は小動物だけではなかった。(③荒れる→)我が家の中には、名前も知らない草木がたくさん(④生える→)、そこにいろいろな虫が集まってきた。虫の観察も楽しく、時間を忘れた。その日もわたしは庭に出て、ありの観察をしていた。一生懸命食べ物を運ぶ姿が面白くて、かなり長い間(⑤見る→)ような気がする。ふとそばに人の気配を感じて顔を上げると、そこに母が(⑥立つ→)。母は(⑦困る→)ような顔をしていた。

- 2 國土交通省は地球温暖化対策として、自転車に期待を(①寄せる→)。今まで車を(②使う→)人が自転車を利用するようになれば、二酸化炭素が出るのを大きく減らすことが(③できる→)。だが、現在、自転車利用者のための対策が(④遅れる→)。自転車事故なども(⑤増える→)ことから、國土交通省はようやく自転車道路の整備に(⑥乗り出す→)。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

ここにある小説は、作者である「わたし」の手を離れて久しいものばかりです。

1 その瞬間に、すでに小説は作者にとって、「自分から離れていってしまったもの」になっています。

作者から 2 小説は、読者の元へと、ゆっくり運ばれてゆきます。たとえば大きな客船に乗って、堂々と海の波を割りひらきながら読者の皆さんとのところへと運ばれる本もあるでしょう。ひっそりと夜の道を 3 しなやかな動物の背に乗って、選ばれた読者にだけ運ばれる本もあるにちがいない。(略)

どんなふうに運ばれた小説も、読者にとっては大切なものです。もしかしたら、作者にとってよりも、読者にとっての方が、より大切なものかもしれない。

わたし自身、自分の作ったものはさきほど 4 ようにどんどん忘れていくけれど、大好きで読みついできたよその作者の小説についてならば、どの頁にどんな言葉があって、登場人物の誰がどんな服をどんな場面で着ていて、どんな時に悲しんでどんな時に喜んだかということを、つぶさに 5 のです。

小説というものは、書かれることも大事だけれど、読んでもらうこと、きっとものすごく大事なのです。

(川上弘美『はじめての文学 川上弘美』文藝春秋 刊)

1

1 書き上がる

2 書き上がった

3 書き上がってている

4 書き上がっていた

2

1 離れる

2 離れた

3 離れている

4 離れていた

3

1 走る

2 走った

3 走りながら

4 走るとき

4

1 書く

2 書いた

3 書いてきた

4 書いていた

5

1 覚える

2 覚えた

3 覚えている

4 覚えていた

3 課 条件を表す文

文章としてのまとまりを持たせるために、ある条件をどう扱うかがポイントになることがあります。あることを仮定するのか、実現した条件(確定)として考えるのか、後に来る文はどうつながるのか、などが文の流れを決める要素になります。

A 条件を表す文(「と・ば・たら・なら」「ても」を使う文)の用法-基本的注意

◆文末の制限: 話者の希望・意向を表す文や働きかけの文が来るか・来ないかに注意する必要があります。

例 × 夏休みになると、国へ帰りたい。

○ 夏休みになると、寮が静かになる。

○ 夏休みになったら、国へ帰りたい。

× そのDVDを借りれば、後でわたしにも見せてください。

○ そのDVDを借りれば、連休中退屈しないだろう。

○ そのDVDを借りるなら、後でわたしにも見せてください。

○ そのDVDを借りたら、後でわたしにも見せてください。

× テレビを見たいのに、今日は我慢しよう。

○ テレビを見たいのに、見られない。

○ テレビを見たくても、今日は我慢しよう。

◆前の文との関係: まだ実現していないこと(仮定)か・実現したこと(確定)かに注意する必要があります。

a) 実現していないこと

例・将来医者になりたい。
医者になるなら、免許を取らなければならない。
医者になれば、多くの命が救えるのではないか。
医者になったら、地元の病院で働きたい。
医者になつても、この地方に住み続けたい。

b) 実現したこと

例・彼は医者になった。
医者になったのなら、地元の病院で働いてほしい。
医者になったら、毎日とても忙しくなったようだ。

医者になっても、趣味の釣りは続けている。

・彼は医者だ。

医者であれば、忙しい医者の気持ちがわかるはずだ。

B 「と・ば・たら・なら」の形以外の仮定・確定の言い方(文脈から仮定・確定を判断する)

1. ~では

例・明日の天気は大荒れだそうだ。悪天候の日に海に行つては、危ないだろう。(仮定)
・最近残業が多い。こんなに残業が続いては、ゆっくり休む暇もない。(確定)

2. ~としたら・~とすれば・~とすると →第1部15課

例・来年は海外旅行をしたい。行くとしたら、南アメリカに行きたい。(仮定)
・この映像は真実だろうか。真実だとすれば(とすると)、大変なことだ。(確定)

3. ~となつたら・~となれば・~となると →第1部15課

例・今年も海外旅行は無理だ。行けないとなつたら、いつそう行きたくなる。(確定)
・やはりこの映像は真実だった。真実だとなれば(となると)、青木氏は責任を取らなければならない。(確定)

4. ~(よ)うものなら →第1部15課

例・わたしはお酒に弱い。一口飲もうものなら体中真っ赤になる。(仮定)

5. ~ないことには →第1部15課

例・まず本人に会ってみよう。会つてみないことには何とも言えない。(仮定)
・今はお金の余裕がない。お金がないことにはこの計画は実行できない。(確定)

6. ~を抜きにしては →第1部15課

例・田中さんは有能な協力者だ。田中さんを抜きにしては、この仕事は成功しない。(仮定)
・国の援助を打ち切られた。国の援助を抜きにしては、研究は進められない。(確定)

7. ~としても・~にしても・~にせよ・~にしろ →第1部15課

例・この薬を信じている。完全に治るのは無理にしても、今より良くなるだろう。(仮定)
・彼が忙しいのはわかる。しかし、いくら忙しいにせよ、出欠の返事を出すくらいできるはずだ。(確定)
・あしたの天気はどうだろうか。雨が降るとしても、大雨ではないだろう。(仮定)



練習1 ()に入る文として、適当なものを選びなさい。

1 a この計画案は承認されるだろうか b この計画案は承認された

①()。承認されないと、次の計画が立てられない。

②()。承認されるとすぐに問い合わせが殺到した。

2 a 課長に事情をよく説明してみるつもりだ b 課長に事情を詳しく説明した

①()。あれだけ丁寧に説明すればわかってくれるだろう。

②()。詳しく説明すればわかってくれるだろう。

3 a 引っ越すかどうか迷っている b あした引っ越し c 先週引っ越しした

①()。引っ越ししたら、友達をうちに呼んで飲み会をしようと思う。

②()。引っ越ししたら、通勤が楽になった。

③()。もし会社の近くに引っ越ししたら、通勤が楽になるだろう。

4 a 今年の新年会ではお酒を飲み過ぎないようにしよう

b 今年の新年会ではお酒を飲み過ぎた

①()。こんなに飲んでは体に悪いだろう。

②()。あまりたくさん飲んでは体に悪いだろう。

練習2 どちらか適当な方を選びなさい。

1 今のような人間不信の社会では、正直であることが大切だ。人々が正直で(①a なかつたら
b ないにせよ)、ますます人を信じることができなくなる。人を信じることは(②a 難しいと
なれば b 難しいにしても)、信じようと(③a 努力しないことには b 努力しようと
のなら)、何事も始まらない。そして、人を信じることが(④a できなければ b できなく
ても)、人と協力し合うことはできない。だからこそ正直でありたい。(⑤a 正直であっても
b 正直であるにしろ)必ず信じてもらえるとは限らないけれど……。

2 地球温暖化の問題が深刻だ。このように深刻な状態に(①a なるとすると b なっては)、
もう解決方法はないのではないかと思ってしまう。このまま温暖化が(②a 進むとすれば
b 進むとしても)、それによる被害はさらに広がるだろう。今の日本の状態では、被害がさら
に(③a 拡大しようものなら b 拡大したとなったら)経済的な損害は多大なものになって
しまう。何か対策を(④a 考えないことには b 考えないとなれば)国民の不安は消えない
だろう。

まとめ つぎの文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

自分の財布の中のお金は自分のものだ。自分のお金で買った本は自分のものだ。また、自分が今□1、持ち主として登録した土地は自分のものだ。このように、形があるものはだれが持ち主かわかりやすい。わずか1円でも、他人のものを□2 どろぼうになってしまう。しかし、実物を手で触ることが□3、人の所有物として守らなければならないものがある。文学や音楽などの作品とか、デザインや発明などである。これらのものはつくった人、考え出した人の大切な財産である。実際に値段はついていないので、売ってすぐにお金に換えることは□4、お金や土地と同じように、「持ち主はわたしです」と主張することができる。このような、芸術作品やデザインや発明などの「持ち主」の権利を、「知的所有権」という。知的所有権は「これはわたしが考えてつくったものだから、わたしのものです」と主張する権利である。つまり、他人の知的所有物を使って経済活動を□5、許可を得なければならぬということになる。

1

1 住んでいれば

2 住んでいなければ

3 住んでいても

4 住んでいなくても

2

1 盗んだら

2 盗んでも

3 盗まなかつたら

4 盗んだとしても

3

1 できても

2 できなくて

3 できる場合

4 できない場合

4

1 できるにしても

2 できるとなつたら

3 できないにしても

4 できないとなつたら

5

1 したら

2 する場合は

3 するとしても

4 しないとしても

4 課 視点を動かさない手段 -1 動詞の使い方、自動詞・他動詞の使い分け

文章としてのまとまりを持たせるために、書き手はふつう、いつも同じ視点から物事を述べます。視点を動かさないようにするために、いろいろな手段が使われます。

視点=物事を見ている位置

日本語では、視点を話者側に置くのが自然です。

~~~~~

### A 話者を主語にする場合

◆動作主が話者で、物の移動を表す文や、感情・動作が他者に向かうことを表す文では、話者を主語にして述べるのが普通です。

例・わたしは高橋さんをしつけた・誘った・案内した・尊敬しているなど

・わたしは高橋さんに～を送った・渡した・投げた・頼んだなど

・わたしはあの人に会ったなど

◆動作主が他者で、物の移動を表す文や、感情・動作が話者に向かうことを表す文では、話者を主語にして受身の形で述べることが多いです。→第3部6課

例○わたしは高橋さんに留守番を頼まれた。

? 高橋さんはわたしに留守番を頼んだ。

◆二者の立場が対立することを表す動詞を使うとき、その一人が話者なら、話者を主語にして述べるのが普通です。

例○わたしは田中さんから歌を教わった。

? 田中さんはわたしに歌を教えた。

○わたしたちのチームは相手チームに勝った。

? 相手チームはわたしたちのチームに負けた。

○わたしは前に林さんに借りたお金を返した。

? わたしは前に林さんが貸したお金を返した。



### B 自動詞・他動詞の使い分け

◆視点が動かなくても、注目するものが変われば自動詞・他動詞の使い分けが必要です。

| 注目点                            | 動詞の種類 | 例                               |
|--------------------------------|-------|---------------------------------|
| 変化を起こす動作に注目する<br>(だれの動作かを意識する) | 他動詞   | (わたしが) 電気を消す<br>(わたしが) タクシーを止める |
| 物の動き・変化に注目する<br>(だれの動作かを意識しない) | 自動詞   | 電気が消える<br>タクシーが止まる              |

◆自動詞・他動詞の発展的使い方には次のようなものがあります。

| 動詞の種類 | 意味             | 例                                                                 |
|-------|----------------|-------------------------------------------------------------------|
| 他動詞   | 失敗・責任<br>慣用的表現 | 財布を落とした。／かぎをなくした。<br>風邪を引いた。／年をとった。                               |
| 自動詞   | 可能<br>動作の結果    | このかばんにはB4サイズの書類が入る。<br>ドアがなかなか開かない。<br>ブラウスの汚れを落とそうとしたが、結局落ちなかつた。 |

◆継起・付帯状態を表す「～て」の前後は、ふつう主語が同じです。自動詞・他動詞のどちらで述べるかに気をつけます。原因・理由を表す場合は、主語が違っていてもかまいません。

例○その子は、ぽかんと口を開けて、先生の話を聞いた。

(その子が口を開けた+その子が聞いた)

× その子は、ぽかんと口が開いて、先生の話を聞いた。(口が開いた+その子が聞いた)

○ その子は、ぽかんと口が開いていて、バカみたいに見えた。

(口が開いていた+その子が見えた)

→原因・理由を表す「～て」

### 練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- この箱は小さいから、これ以上(①a 本を入れない b 本が入らない)。残った本は本棚に  
(②a 並べたほうがいい b 並んだほうがいい)。
- 帰ろうとしたとき(①a 山川さんが小さい箱を渡した b 山川さんから小さい箱を渡された)  
が、その意味がわたしにはわからなかつたので、すぐに(②a 収納した b 収納された)。



3 わたしは産地直送の野菜や果物が好きだ。インターネットで(①a 注文した b 注文を受けた)ものが、次の日にはうちに(②a 届ける b 届く)。うれしい時間だ。毎回すぐに産地の人に(③a 電話をかけて b 電話がかかって)、「来週もよろしくね。」と言う。こういうつきあいが楽しいのだ。

4 昨日、新しくできた図書館へ行った。本を5冊(①a 借りた b 貸した)。「本を(②a お借りになる b お貸しする)方はカウンターへお申し出ください。」と書いてあった。「雑誌もいいですか。」と(③a 聞いたら b 聞かれたら)、「すみません。雑誌は(④a お借りできない b お貸しきれない)んです。」と言われた。

5 昔、(①a 母が教えた b 母から教わった)この料理法はとても役に立つ。「おいしく作るいい方法があるから(②a 教えるね b 教わるね)。覚えておくといいよ。」と言って、作り方を書いてくれた。この方法を、わたしはいつか自分の子供にも(③a 教えたい b 教わりたい)。

6 夫はテレビのプロ野球番組が好きで、巨人の応援をしている。特に阪神には絶対に(①a 贠けてほしくない b 贠けてほしい)ようで、もし(②a 勝つたら b 贠けたら)機嫌が悪くなる。今日は(③a 勝つた b 贠けた)から良かったが、「あした(④a 勝つたら b 贠けたら)もうテレビは見ない。」などと言っている。  
(注)巨人・阪神:プロ野球のチーム名

7 昔、かくれんぼという遊びをよくしたものだ。木の陰や家の後ろなどに(①a 隠れて b 隠して)いる子を鬼が(②a 見つかる b 見つける)遊びである。わたしは体が大きかったので、どんなに(③a 隠れた b 隠した)つもりでも、すぐに(④a 見つかって b 見つけて)しまった。また、宝探しという遊びもよくした。母が(⑤a 隠れた b 隠した)宝物を一番たくさん(⑥a 見つかった b 見つけた)子が勝ち。わたしは母の(⑦a 隠れ方 b 隠し方)をよく知っていたので、いつも一番だった。

8 先日、何度か川田さんのうちに電話をかけたが、話し中でなかなか(①a つなげられなかった b つながらなかった)。川田さんのお子さんが(②a 試験を受けた b 試験に受かった)と聞いたので、一言お祝いを言おうと思ったのだ。後で聞いたら、その日は朝から電話が多く、ずっと(③a 電話を鳴らしていた b 電話が鳴っていた)のだそうだ。

**まとめ** つぎの文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

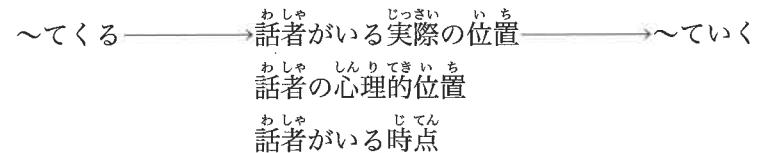
そんな私も二年間、日記を書いていた。インターネットを使ったメールマガジンというのをやることになり、そこで「今週の私」みたいな一週間分の□1のだ。今はそのメールマガジンがなくなってしまったが、日記は個人的につけている。

メールマガジンって、□2あまり知らなかつたんだけど、とてもおもしろいシステム。基本的には「たくさんの人といっぺんに送る電子メール」と考えてくればよい。ホームページだったら、利用者が「あのページ見てみようかな」と自分でその気になってURL(ホームページのアドレス)を入力したりして見なければならなければ、メールマガジンは□3のを読むだけだから、気軽だよね。

それに、なんだか自分だけに送られてきたような気になってちょっとうれしい。私も、自分でメールマガジンの発行を始めてからほかの人もいくつか取り始めたんだけど、届くたびに「お、□4」って感じになる。もちろん、いろいろな人がいろいろな内容や形式のメールマガジンを書いているんだけど、私は日記を中心としたエッセイを毎週一回、□5。正直言うと、「何を書こうか?」と毎回、考えることができないので、「よしつ、日記だったら書くことがなくて困るってことはないだろう」と思ったわけなんだけど。

(香山リカ『10代のうちに考えておくこと』岩波ジュニア新書による)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| □1 1 日記が載った     | 2 日記が載っていた      |
| 3 日記が載せてあった     | 4 日記を載せていた      |
| □2 1 自分で始めるまで   | 2 自分から始まるまで     |
| 3 自分で始めたのに      | 4 自分から始まったのに    |
| □3 1 向こうへ送る     | 2 向こうから送られてくる   |
| 3 あちこちで受け取る     | 4 あちこちで受け取られる   |
| □4 1 来る来る       | 2 来た来た          |
| 3 行く行く          | 4 行った行った        |
| □5 1 届くことになっていた | 2 届けられることにしてあった |
| 3 送ることにしていた     | 4 送られることになっていた  |



◆「～てくる・～ていく」の用法は次のように整理されます。

| 意味              |               | 例                                                       |
|-----------------|---------------|---------------------------------------------------------|
| 具体的<br>くわいたてき   | 空間的<br>くうかんてき | ①ある動作の後の移動<br>どうさ あと いどう<br>ちょっとパンを買ってくる。<br>花を買っていこう。  |
|                 |               | ②その状態での移動<br>じょうたい いどう<br>学校からたくさん本を抱えてきた。<br>駅まで走っていく。 |
| 抽象的<br>ちゅうしょうてき | 時間的<br>じかんてき  | ③継続<br>けいぞく<br>今までずっと我慢してきた。<br>これからもこの仕事を続けていく。        |
|                 |               | ④変化の進行<br>へんか しんこう<br>病状が良くなってきた。<br>次第に上手になっていくだろう。    |
| その他<br>たの       | ⑤出現<br>しゆげん   | 元気が出てきた。                                                |
|                 | ⑥消滅<br>しゆめつ   | 恨みの感情が消えていった。                                           |
|                 | ⑦開始<br>かいし    | 急におなかが痛くなってきた。                                          |

◆文章の中では、書き手はふつう自分を中心にして、自分の位置から物事を述べます。  
そして、その位置をずっと変えません。

例・社内の動きをずっと見てきたが、この1、2年、雰囲気が大きく変わってきた。社長は何度も海外に飛んでいき、そのたびに緊張した表情で帰ってきた。外国の会社とうまくやつていくためには国際性が必要だが、国内の需要に頼って新製品を作ってきたわが社に、その力があるかどうかわからない。

話者のいる時点：現在 ①見てきた ②変わってきた ⑤やつていく ⑥作ってきた

話者のいる位置：国内・会社 ③飛んでいき ④帰ってきた

◆移動を表す動詞に「～てくる・～ていく」をつけないと、動作の方向や話者のいる位置がわかりません。

例 × 珍しい鳥が飛んだ。(鳥がどちらの方向へ移動したかわからない。)

○珍しい鳥が飛んできた。(鳥は自分の方へ来た。)

✗ 学生が教室から出た。(話者は教室の中にいるか、外にいるかわからない。)

○学生が教室から出ていった。(話者は教室の中にいる。)

○学生が教室から出てきた。(話者は教室の外にいる。)

### 練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 幸せは歩いて(a こない b いかない)。自分で求めなければならないのだ。
- 2 山田君から「子供を連れて(a きても b いつても)いい?」という電話があった。
- 3 入院中の夫は会社の同僚が見舞いにお金を持って(a くる b いく)のが嫌でたまらないらしい。
- 4 玄関の外に出て待っていると、子供たちは「お祭り、楽しかったよ。」と言って、帰つて(a きた b いった)。
- 5 お客様は「おじゃました。」と言って、帰つて(a きた b いった)。
- 6 父は、「あ、たばこがない。ちょっと買って(①a くる b いく)。」と言って、出て(②a きた b いった)。
- 7 駅で偶然会った友人に昼ご飯に誘われたが、食べて(a きた b いた)から、と言って、ことわ断つた。
- 8 高校を卒業してからずっと父の店を手伝つて(a きた b いた)が、そろそろ独立しようと思っている。
- 9 次のオリンピックを目指して頑張つて(a こよう b いこう)と思っています。
- 10 退院後、だんだん体力がついて(①a きました b いきました)ので、来週からは出社しようとっています。これからは無理しないでやって(②a きます b いきます)から、大丈夫です。

### 練習2 適当なものを選びなさい。

- 1 わたしは教室の外の廊下でリンさんと立ち話をした。その後彼女は教室に( )。
  - a 入っていた
  - b 入ってきた
  - c 入つていった
- 2 今度( )隣の部屋の人はすごいボリュームで音楽を聞く。うるさくて困っている。
  - a 引っ越した
  - b 引っ越してきた
  - c 引っ越していった



- 3 リンさんはときどき真夜中に電話を( )。そんな時は、次の日眠くてたまらない。  
 a かける b かけてくる c かけていく
- 4 20年ぶりにふるさとの海へ行ってみた。懐かしかった。子供のころよく( )。  
 a 泳いだものだ b 泳いできたものだ c 泳いでいったものだ
- 5 駅のホームで男がわたしに( )。すぐに逃げられなかつた。  
 a つかみかかっていた b つかみかかってきた c つかみかかっていった

**練習3** 「くる・いく」を適当な形にして、\_\_\_\_\_の上に書きなさい。また、この話をしたときの話者の位置がどこか、a、bから選びなさい。

- 1 入場券を買った後、このロッカーに荷物を入れて\_\_\_\_\_ほうがいいですよ。その大きな荷物を持って館内を見学するのは大変ですよ。  
 (話者の位置：a 館外 b 館内)

- 2 あ、太郎、わたしのサンダルがそっちへ流れて\_\_\_\_\_しまったから、拾って！  
 (話者の位置：a 川の上方 b 川の下方)

- 3 ベンチに座ってぼんやり辺りを見ていたら、子供を数人連れた女性が近づいて\_\_\_\_\_、ベンチのそばで子供の数を確認し、植物園に入って\_\_\_\_\_。  
 (話者の位置：a 植物園の中のベンチ b 植物園の外のベンチ)

- 4 通勤時のバスは込んでいる。四つ目のバス停で3人降りて\_\_\_\_\_が、8人乗って\_\_\_\_\_。次のバス停でも同じだった。  
 (話者の位置：a バス停 b バスの中)

- 5 夫は今、上海で仕事をしています。先日、上海で知り合った人を連れて\_\_\_\_\_が、その人の日本語がとても上手だったのでびっくりしました。四日後、夫はまた上海に戻るとき、日本語のテキストをたくさん持って\_\_\_\_\_。上海で使うのだそうです。昨日電話がかかって\_\_\_\_\_。来週日本から大勢お客様が訪ねて\_\_\_\_\_ので、忙しくなるようです。  
 (話者の位置：a 日本 b 上海)

**まとめ** 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

われわれは「絶対ダメ」と決めつけることによって多くの可能性を奪っていないだろうか。希望することによってこそ可能性も生まれてくるのだ。遠くのことを眺めているうちに、案外希望が□1ことがある。あるいは不必要ながみ合い<sup>(注1)</sup>が消えてゆくときもある。あるいは、思いがけない解決のヒントが見えることもある。

「遠くを眺める」ことの一つとして、十年先を□2どうだろうか。現代では十年先のことを見ることはなかなか困難である。しかし、そんなに難しい予見などと言わなくとも、ただ「十年後はどうかな」と思ってみるだけでも、われわれの生き方は少し□3のではなかろうか。今、カンカンになってけんかをしている相手が、十年どころか四年後には定年でやめ、再就職で□4だろうなと思うだけで、けんかの仕方も少しは変わることだろう。

人間は苦しい状況に追い込まれると、もう耐え切れない<sup>(注2)</sup>と思い、ひどく悲観的になってしまったり、焦ってきて、しなくともいいことをでかしたりするものだが、そんなときに、十年後はどうなっているだろう、こんな馬鹿げたことが十年も、というよりは、五年も□5はずはないだろう、などと思ってくると、少しゆとりが出てきて、判断も確かに出てくる。

(河合隼雄『過保護なくして親離れはない』)

(注1) いがみ合い：争い合い

(注2) 耐え切れない：我慢できない

1

1 わいてくる 2 わいていく 3 わいてきた 4 わいていった

2

1 ながめてくると 2 眺めていくと 3 眺めてみると 4 眺めないと

3

1 ちがつてくる 2 違ってしまう 3 違つてきた 4 違つてしまった

4

1 くろうしてくる 2 苦労している 3 苦労してきた 4 苦労していた

5

1 つづいてくる 2 続いてきた 3 続く 4 続いた